

授業科目	社会的養護内容	1単位	選択	演習	2学年後期	担当教員	教授 松浦 信二						
授業の概要	① 社会的養護の理論を踏まえて、子どもを社会的に養護していくための知識や技術について学修する。 ② 社会的養護を必要とする子どもの権利について学び、個々の子どもに応じた支援計画の作成、日常生活の支援の方法を理解する。 ③ 児童福祉施設における保育士の役割を学び、社会的養護にかかわる相談支援、記録および評価について理解する。 ④ ケーススタディを通して、各事例のグループワークを行い、実践内容の具体性を把握し保育者としての支援力を習得する。												
到達目標					学習成果Ⅰ			学習成果Ⅱ		学習成果Ⅲ			
					①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
1. 社会的養護の理念と機能、社会的養護の概要・現状、社会的養護に関する法制度について理解する。					◎		◎	◎	◎	◎			
2. 子どもの権利と児童の権利に関する条約、社会的養護と子どもの権利、社会的養護にかかわる保育士の役割について理解する。					◎	○				◎	◎		
3. 施設における支援の実際として、アドミッションケア、インケア、リビングケア、アフターケアについて理解する。					◎		○	◎	◎	◎			○
4. 社会的養護にかかわる相談支援、社会的養護実践における記録および評価について理解する。					◎	○	○	◎	◎	◎		◎	○
5. ケーススタディを通して、個別支援計画の作成、社会的養護実践について理解する。					◎					◎			
凡例 ◎：学習成果Ⅰ～Ⅲを獲得するために特に重要な目標、○：学習成果Ⅰ～Ⅲを獲得するために重要な目標 査定項目①～⑨はivページ参照													
	主 題	準備学習		本時の学習内容と到達目標				復 習					
1	オリエンテーション 第1章「社会的養護の理念と機能、法制度と枠組み」	シラバスに目を通しておく。教科書 P14～P24 を読み、第1章の概要を理解しておく。		授業の流れと評価の方法について理解する。 社会的養護の理念と機能、法制度と枠組みを学び、社会的養護、法制度について理解する。				章末ワーク 1、ワーク 2 に取り組み、学んだことを整理する。					
2	第2章「社会的養護を必要とする子どもの理解と権利」	教科書P28～P40を読み、第2章の概要を理解しておく。		社会的養護と子どもの権利、子どもの権利擁護について学び、子どもの権利を守るしくみについて理解する。				章末ワーク 1、ワーク 2 に取り組み、学んだことを整理する。					
3	第3章「社会的養護にかかわる保育士の役割」	教科書P44～P52を読み、第3章の概要を理解しておく。		社会的養護にかかわる保育士の役割について学び、保育士の倫理および責務、保育士の専門性について理解する。				章末ワーク 1、ワーク 2 に取り組み、学んだことを整理する。					
4	第4章「施設における支援の実際」	教科書P56～P65を読み、第4章の概要を理解しておく。		アドミッションケア、インケア、リビングケア、アフターケアについて理解する。				章末ワーク 1、ワーク 2 に取り組み、学んだことを整理する。					
5	第5章「社会的養護にかかわる相談支援」	教科書P70～P76を読み、第5章の概要を理解しておく。		家庭・家族への支援、里親への支援、自立支援について学び、自立に向けた支援について理解する。				章末ワーク 1、ワーク 2 に取り組み、学んだことを整理する。					
6	第6章「記録および評価」	教科書P80～P92を読み、第6章の概要を理解しておく。		社会的養護実践における記録、社会的養護実践における評価の方法を理解する。				章末ワーク 1、ワーク 2 に取り組み、学んだことを整理する。					

7	ケース 1「施設への入所前後の支援」	教科書「ケース 1」の事例を読んでおく。	ケース 1 「被虐待により短期間施設入所を利用し、家庭復帰をした子どもの事例」を通して社会的養護実践の理解を深める。	章末演習課題に取り組み、学んだことを整理する。
8	ケース 2「個別支援計画の作成 1」	教科書「ケース 2」の事例を読んでおく。	ケース 2 「知的障害者の個別支援計画の作成の事例」を通して社会的養護実践の理解を深める。	章末演習課題に取り組み、学んだことを整理する。
9	ケース 4「日常生活支援 1」	教科書「ケース 4」の事例を読んでおく。	ケース 4 「日常生活支援 1 の事例」を通して社会的養護実践の理解を深める。	章末演習課題に取り組み、学んだことを整理する。
10	ケース 5「日常生活支援 2」	教科書「ケース 5」の事例を読んでおく。	ケース 5「児童自立支援施設での小舎夫婦制による日常生活支援 の事例」を通して社会的養護実践の理解を深める。	章末演習課題に取り組み、学んだことを整理する。
11	ケース 6「治療的支援 1」	教科書「ケース 6」の事例を読んでおく。	ケース 6「情緒が不安定な子どもへの児童心理治療施設での治療的支援の事例」を通して社会的養護実践の理解を深める。	章末演習課題に取り組み、学んだことを整理する。
12	ケース 8「自立支援 1」	教科書「ケース 8」の事例を読んでおく。	ケース 8「高校を中退した子どもへの児童養護施設での就労支援の事例」を通して社会的養護実践の理解を深める。	章末演習課題に取り組み、学んだことを整理する。
13	ケース 10「家庭養護へ向けての支援」	教科書「ケース 10」の事例を読んでおく。	ケース 10「ネグレクトされていた子どもの里親委託までのプロセスの事例」を通して社会的養護実践の理解を深める。	章末演習課題に取り組み、学んだことを整理する。
15	ケース 11「永続的解決に向けての支援」	教科書「ケース 11」の事例を読んでおく。	ケース 11「乳児院に入所していた子どもの養子縁組までのプロセスの事例」を通して社会的養護実践の理解を深める。	章末演習課題に取り組み、学んだことを整理する。
成績評価	授業への取り組み (20%) 課題等の提出 (20%) 期末試験 (60%) 合計 100%			
教員からのコメント	保育者として、様々な問題を抱えた子どもについて学ぶことはとても大切なことです。社会的養護を必要とする子どもの現状とその支援のあり方について事例を中心に学んでいきます。実際のケースを学ぶ上では、事前にケースを読んで理解したうえで授業に臨んでもらいたい。一方的にケースを捉えるのではなく、いろいろな視点からケースを理解してもらいたい。社会的養護について学習し、子どもの権利についてしっかりと理解してもらいたい。子どもの権利を守る専門職として、保育士の倫理や責務について理解してもらいたい。			
教科書	書名 演習・保育と社会的養護実践 著者 橋本 好市・原田 旬哉 編集 発行所 株式会社 みらい	推薦図書	書名 必要に応じて随時紹介する。 著者 発行所	